

令和6年（2024）9月 入域観光客数概況（確定版）

83万900人
対前年（R5）同月比 +12万800人、+17.0%
※過去最高年度月比（H29）▲6,200人 ▲0.7%

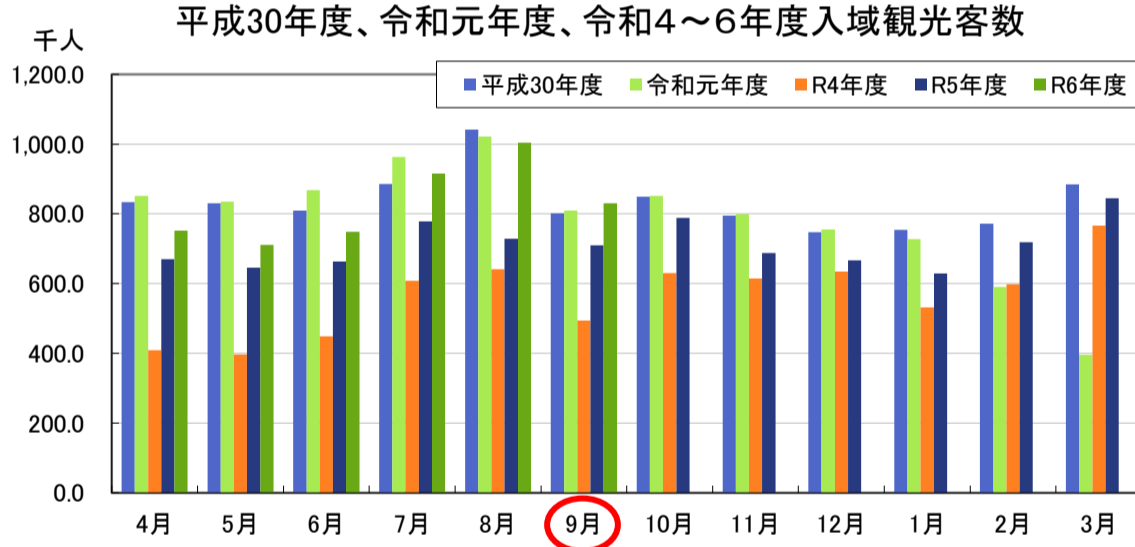
【更新履歴】①令和6年10月25日速報版公表
②令和6年12月25日確定版公表
※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、12月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度、過去最高年度※H29との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
国内客	634,600人	603,500人	+ 31,100人	+ 5.2%	76.4%	603,600人
空路	633,000人	599,700人	+ 33,300人	+ 5.6%	76.2%	601,300人
海路	1,600人	3,800人	△ 2,200人	△ 57.9%	0.2%	2,300人
外国客	196,300人	106,600人	+ 89,700人	+ 84.1%	23.6%	233,500人
空路	125,400人	79,600人	+ 45,800人	+ 57.5%	15.1%	146,200人
海路	70,900人	27,000人	+ 43,900人	+ 162.6%	8.5%	87,300人
合計	830,900人	710,100人	+ 120,800人	+ 17.0%	100.0%	837,100人

※外国客には、海路における乗務員等21,300人を含む。



国内客 入域状況

9月は、一部路線において台風による航空便の欠航等が発生したものの、2度の3連休を中心に航空便の輸送実績は堅調であったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
東京方面	324,400人	305,500人	+ 18,900人	+ 6.2%	51.1%	302,900人
関西方面	132,700人	126,300人	+ 6,400人	+ 5.1%	20.9%	123,300人
福岡方面	75,200人	72,000人	+ 3,200人	+ 4.4%	11.8%	75,700人
名古屋	49,900人	50,400人	△ 500人	△ 1.0%	7.9%	49,200人
その他	52,400人	49,300人	+ 3,100人	+ 6.3%	8.3%	52,500人
合計	634,600人	603,500人	+ 31,100人	+ 5.2%	100.0%	603,600人

外国客 入域状況

9月は、航空路線において那覇－福州路線の再開があったこと、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことなどから前年同月を上回った。特に、台湾からの入域客数は過去最多となった。(※H29年度比△37,200人 △15.9%)

10月以降については、バンコク－台北経由－沖縄路線(11月2日～)及び那覇－台中路線(12月2日～)の新規就航があること、台湾・中国本土・香港発着クルーズの寄港が多数あることなどから好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶ 【タイ】タイ・ライオンエアは、1月21日より那覇－タイ(ドンムアン)路線を新規就航する。

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
台湾	85,200人	56,600人	+ 28,600人	+50.5%	43.4%	67,800人
韓国	36,200人	21,500人	+ 14,700人	+68.4%	18.4%	43,200人
中国本土	28,800人	6,300人	+ 22,500人	+357.1%	14.7%	49,900人
香港	13,100人	10,000人	+ 3,100人	+31.0%	6.7%	25,400人
アメリカ	2,800人	1,500人	+ 1,300人	+86.7%	1.4%	2,000人
タイ	1,200人	100人	+ 1,100人	+1100.0%	0.6%	2,800人
シンガポール	1,200人	200人	+ 1,000人	+500.0%	0.6%	1,100人
その他	27,800人	10,400人	+ 17,400人	+167.3%	14.2%	41,300人
合計	196,300人	106,600人	+ 89,700人	+84.1%	100.0%	233,500人

※「その他」には、海路における乗務員等21,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	57,700人	38,500人	+49.9%	46.0%	27,500人	18,100人	+51.9%	38.8%
韓国	36,000人	21,500人	+67.4%	28.7%	200人	0人	皆増	0.3%
中国本土	10,900人	5,600人	+94.6%	8.7%	17,900人	700人	+2457.1%	25.2%
香港	12,300人	10,000人	+23.0%	9.8%	800人	0人	皆増	1.1%
アメリカ	1,700人	1,200人	+41.7%	1.4%	1,100人	300人	266.7%	1.6%
タイ	1,100人	100人	+1000.0%	0.9%	100人	0人	皆増	0.1%
シンガポール	1,000人	200人	+400.0%	0.8%	200人	0人	皆増	0.3%
その他	4,700人	2,500人	+88.0%	3.7%	23,100人	7,900人	+192.4%	32.6%
合計	125,400人	79,600人	+57.5%	100.0%	70,900人	27,000人	+162.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等21,300人を含む。

外国客の地域構成比

